



えのきだクリニックからのお便り

こんにちは。えのきだクリニック院長の榎田です。皆様に少しでも役立つ情報をお伝え出来ればと思い、不定期ではありますがお便りを作ることとしました。ご興味があれば読んでいただくと幸いです。

さて第一弾は『**大腸癌**』についてです。大腸癌は下記グラフの通り、罹患者数・死亡者数ともに年々増えていきます。その結果 2021 年のデータでは、大腸癌で死亡する方は、肺癌に次いで 2 番目に多い結果でした。それではどうしたら大腸癌で死亡することを防ぐ事が出来るのでしょうか。それはやはり検査を受けることです。大腸癌検診は主に検便による便潜血検査が行われています。そこでもしも**便潜血検査陽性となった方は大腸内視鏡検査を受けて頂くことが推奨されています。**

当院が開業してから約 4 月が過ぎました。この間、当院で大腸内視鏡検査を受けた方は 119 人、うち進行大腸癌が 2 人、早期大腸癌が 4 人、癌化リスクのあるポリープを切除した方が 63 人でした。つまり、**当院で大腸内視鏡検査を受けた 119 人の内 69 人（約 58%）に大腸癌もしくは癌化リスクのあるポリープが見つかったということです。**

この癌化リスクのあるポリープの多くは「腺腫」というタイプのポリープで「今は癌ではないが、徐々に大きくなり癌化する可能性があるタイプ」と言われ、そのため切除が推奨されます。つまりは「**大腸内視鏡検査で腺腫性ポリープを切除すると、将来大腸癌になる危険性を大幅に減らせる**」ということです。

大腸内視鏡検査は、検査のための前処置の負担、検査そのものの負担、恥ずかしいなどの気持ちの負担などがあると思います。そのため検査を受けることに躊躇してしまうかもしれません。しかし、**検査を受けること**によって得られるものが大きい検査だと考えます。

<まとめ>

便潜血検査が陽性となった場合は、自分のため・家族のために、大腸内視鏡検査を受けて頂くことを強くお勧めします。また血便や便通障害がある方も検査を受けて頂くことをお勧めします。まずは気軽にご相談ください。

